

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年3月3日

事業所名 ジュニアスペース・らいぶ草津

	チェック項目	はい	どちらとも いわない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1			法令を遵守し、十分なスペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切である	2	3	1		必要人数の職員配置を行っています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6				どのフロアもフラットになっています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1			職員間で情報共有し、進めています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6				保護者様の意向を把握し、改善(参観日の実施等)を行っています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2			毎年ホームページにて公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1			今後検討していきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1			定期的に外部講師による研修会や社内独自の研修を実施しています。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6				ご利用児童の様子を職員間で共有し、計画作成を行っています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		視覚支援ツールとして絵カードや写真カードを使用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2			主担当を中心に職員間で相談の上、立案をしています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			定期的にプログラムを変更、更新しています。また、季節に合ったプログラムを設定、実施しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2			療育プログラムを決定した上で必要があればブラッシュアップを行い支援を行います。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				アセスメントを元に優先順位を考慮した支援計画を作成しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4				申し送り事項や当日プログラムの確認、職員配置の割り振りを行っています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2			ご利用児童に関わる情報を日々職員間で共有しています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			月に1回、支援経過記録をお渡ししています。	職員間で確認を行いながら記録をとっています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1			6ヶ月毎にモニタリング、アセスメントを実施し、計画を見直しています。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	1			基本活動を複数組み合わせ、日々の支援を行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				児童発達支援管理責任者及び管理者が参画しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6				各学校へのお迎え時にご利用児童の状況や情報の共有をしている他、保護者様にもご協力をいただき連絡調整を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	2				該当児童が在籍していません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	4	1			ケースに応じて保育所等へ見学に伺い、お子様の情報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	3				低学年向けの事業所であるため行っていません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1				適宜電話連絡やモニタリング等で連携を行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	3			他事業所様との運動交流イベントを行っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5				児童発達支援管理責任者及び管理者が参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6					お引き渡し時に口頭でお伝えするとともに、気になるご様子等があった時には連絡帳に記載させていただいています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	2			ご家庭での対応について、より良い助言ができるように継続して研修を行います。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6					ご契約時に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6					個別面談等でご相談があった際には適宜行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	4		保護者会は実施していませんが参観日を設けました。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6					お申し入れがあった場合には迅速かつ適切に対応に努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6					ホームページやLINE等でイベントや活動予定の開示を行っています。
	35	個人情報に十分注意している	6					個人情報に係る書類やデータの取り扱いに十分に注意をしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1				状況に応じたご対応に配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	4			今後そうした観点での事業運営にも目を向けていきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2		マニュアルを策定し、職員間で共有をしています。保護者様には契約時や避難訓練実施時期にご説明を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			法令に基づき、年2回の実施を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1		定期的に虐待防止研修を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1		サービス計画への記載はしていませんが、ご契約時に丁寧な説明を行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			アセスメントを元に保護者様からも聞き取りを行い、十分に配慮しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1		支援後の振り返り時に全体で共有し、記録を残しています。